

尾首の池から

満天の星空を望んで

8月下旬、立石地区の尾首の池から夏の夜空を撮影しました。月明かりが少しずつ傾き、日付が変わる頃にはさらに一段と空の色が濃くなっています。

かつて尾首の池のほとりでは、地域住民が集まって月を愛でる催しも行われていたそうです。静かな山里で空を眺めていると、いつもよりも時間がゆっくりと流れているような、不思議な気持ちになります。